第３期竹田市地方創生総合戦略（素案）の概要について

◇計画期間：2025（令和7）年度～2027（令和９）年度までの３年間

◇基本的な視点

・人口規模が小さくても豊かに暮らしていける社会をつくる

・域内の財産には限りがあることを意識し、整理、集約、多機能化を進める　また、人材の活用についても最適化を図る

・市場特性や地域資源を最大限生かし、域外の力を味方につけ、域外から稼ぐ

・自立性・将来性・地域性・総合性・結果重視の政策５原則、とりわけ「結果重視」を意識した政策展開

お手元の資料　P.7、29

1　地域ビジョン

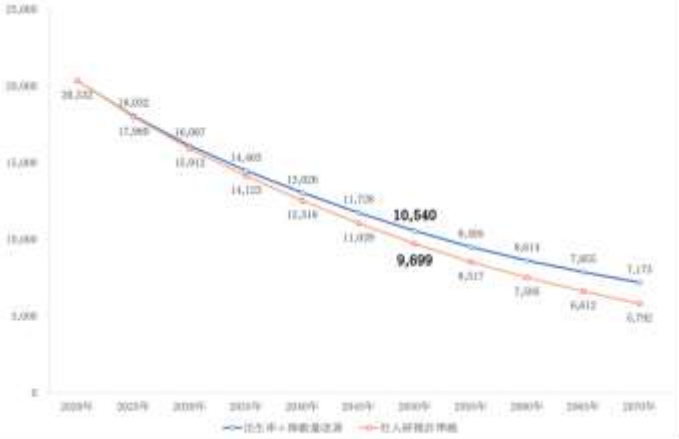
ひとが輝き　未来へつなぐ　いのち溢れるまち『竹田』

2　人口の将来展望

●国の目標　：　人口－2060年総人口１億人程度
合計特殊出生率－2030年に1.8、2040年に2.07程度まで引き上げる

●大分県の目標　：　人口－2035年に100万人維持（2035年に98.4万人の予測値）
合計特殊出生率－2033年に1.84、2040年に2.07まで引き上げる

〇竹田市の目標　：　人口－2050（令和32）年
総人口10,540人を目指す
合計特殊出生率－2030年に1.63、
2033年に1.84、それ以降は、
2.07程度を目指す



お手元の資料　P.7～12

３　基本目標

新たな総合戦略では、国の目指す方針である「地方に仕事をつくる」「人の流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「魅力的な地域をつくる」の４つの柱を基本に据え、総合計画のまちづくりの柱と連動させることとしました。

Ⅰ　誰もが集まりたくなる魅力的でいきいきとしたまち（人の流れ）

移住者の安定した生活基盤の確立を目指し、住環境整備、支援制度の充実に取り組みます。また、歴史的資源や観光・文化施設を活かし、交流を促進し、地域の魅力を高めます。さらに、情報発信力の向上により、竹田市の魅力を広く伝え移住促進につなげていくことを目指します。

Ⅱ　働く人がいきいきと輝く活力のまち（しごと）

農林畜産業や観光業を成長産業と位置づけ、スマート農業の導入やインバウンド施策を推進します。また、多様な働き方の導入や外国人材・高齢者の社会参加を促し、産業基盤の底支えを図るとともに、スタートアップ支援を強化し、産業の多角化を図りつつ活力ある地域の創出を目指します。

Ⅲ　子どもも大人も共に成長する育みのまち（子育て等）

出産・子育て支援の充実に加え、医療体制を支え、安心して子育てできる環境を整えます。。健康づくりや地域共生社会の推進を図り、すべての世代が活躍できる環境を整備します。ICT教育や郷土学を活用し、地域を支える人材を育成するまちを目指します。

Ⅳ　誰もが快適に生活できる安全・安心のまち（魅力的な地域）

安心・安全な環境の整備、集落機能の維持、生活の質向上を進め、災害対応力を強化します。住民の健康や社会的つながりを支え、地域活力を高める施策を実施します。また、持続可能な地域社会を構築し、住民が誇りを持ち信頼できる地域づくりを目指します。

お手元の資料　P.7～12

４　総合戦略の施策体系図

Ⅰ　誰もが集まりたくなる魅力的でいきいきとしたまち（人の流れ）

- ①．移住の推進、住環境整備をはじめとする定住促進
- ②．地域ブランディングを通じた移住・定住促進
- ③．地域の魅力を引き出す観光プロモーション
- ④．多様な視点で地域を魅せる情報発信

Ⅱ　働く人がいきいきと輝く活力のまち（しごと）

- ①．農林畜産業を成長産業と位置づけ、集中的に育成・誘致・効率化を図る
- ②．魅力的で柔軟な働き方の実現による多様な雇用機会とのマッチング
- ③．地域産業活性化に向けた多角的アプローチ
- ④．地域経済の強化を目指す企業誘致戦略

Ⅲ　子どもも大人も共に成長する育みのまち（子育て等）

- ①．結婚から子育てまで切れ目ないきめ細かい支援
- ②．誰もが安心して暮らせる地域医療と自立支援のまちづくり
- ③．健康一直線～市民総参加で健康寿命を延ばすまちづくり～
- ④．子どもの学びを支える教育環境の整備と充実

Ⅳ　誰もが快適に生活できる安全・安心のまち（魅力的な地域）

- ①．地域コミュニティの活性化
- ②．デジタルインフラを活用した生活環境の整備
- ③．公共交通の利便性向上
- ④．持続可能な地域環境の実現に向けた取り組み

５　取組

お手元の資料　P.35-42

Ⅰ　誰もが集まりたくなる魅力的でいきいきとしたまち（人の流れ）

現況と課題

① 移住の推進、住環境整備をはじめとする定住促進
- 移住希望者にとって、情報収集が困難
- 移住者と地域住民の相互理解を深める場が少ない
- 活用困難な空き家の増加による住環境の悪化
- 市内に住む若年住民同士の交流の場や機会の減少

② 地域ブランディングを通じた移住・定住促進
- 岡城跡と城下町との連携が課題となっている
- 温泉を活用した健康増進活動の魅力を最大限に発揮できていない
- 民俗芸能の後継者不足が深刻となっている

③ 地域の魅力を引き出す観光プロモーション
- 地域の特色を活かした多様なﾂｰﾘｽﾞﾑの展開が不十分
- インバウンドの受入れについて工夫の余地がある

取組

- SNS等を活用し、地域特色を反映した情報発信の強化
- 移住希望者と地域住民の交流機会の創出
- 空き家バンクや空き家再生バンクの取組の推進
- 関係人口増加のための交流機会の創出

- 観光資源として効果的に活用できる環境整備の推進
- 温泉を活用した健康増進プログラムを充実
- 民俗芸能や地域文化の魅力についての広報強化

- 広域的なプロモーション活動を強化
- 歴史文化を活かした神楽や独自の体験型観光ツアーの造成

５　取組

お手元の資料　P.35-42

Ⅰ　誰もが集まりたくなる魅力的でいきいきとしたまち（人の流れ）

現況と課題

④ 多様な視点で地域を魅せる情報発信

- **魅力を発信するｺﾝﾃﾝﾂが十分に整備されていない**
- **市民が利用しやすいｵｰﾌﾟﾝﾃﾞｰﾀにまでなっていない**

取組

- **ターゲット層に響く効果的なﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ活動の強化**
- **オープンデータの利便性向上**

主な達成目標（ＫＰＩ）

指　標　名	単位	令和5年度（実績）	令和9年度（目標）	備　　考
社会増減数	人	△138	△123	住民基本台帳のＲ５～Ｒ９の平均社会減
民俗芸能広報活動実施件数	件	10	12	メディア発信件数
観光入込客数総数	人	2,830,000	3,000,000	観光入込客数調査
ふるさと納税件数	件	16,450	25,000	年間寄附件数
SNSフォロワー総数	人	694	5,200	LINE等の登録者数

５　取組

お手元の資料　P.43-52

Ⅱ　働く人がいきいきと輝く活力のまち（しごと）

現況と課題	取組
① 農林畜産業を成長産業と位置づけ、集中的に育成・誘致・効率化を図る	
・農業後継者（新規就農者や親元就農者）確保が困難 ・農業分野における企業参入や連携の鈍化 ・地元産品の販路拡大やブランド力向上の伸び悩み ・スマート農業等の拡大の遅れ ・労働力不足	・事業継承に関する相談体制の整備と支援 ・企業の農業参入の推進 ・直売所やECサイトなどの販売拠点の強化 ・スマート農業やICTツールの導入支援 ・農業体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの充実などにより関心を持たせる
② 魅力的で柔軟な働き方の実現による多様な雇用機会とのマッチング	
・男性の育児参加や女性の就業機会に広がりがみられない ・高齢者等の社会参加人材の掘り起こしの可能性の追求 ・外国人材の受入環境が不十分	・女性農業者の職場環境改善に向けた支援策の充実 ・高齢者の就労促進や副業・兼業を推進 ・外国人技能実習生等の受入れに対する支援
③ 地域産業活性化に向けた多角的アプローチ	
・クリエーターの経済活動への参加が停滞している ・商店街の空き店舗の増加	・クリエイターのスタートアップ支援の推進 ・空き店舗を活用した創業支援や補助制度の推進

５　取組

お手元の資料　P.43-52

Ⅱ　働く人がいきいきと輝く活力のまち（しごと）

現況と課題

④ 地域経済の強化を目指す企業誘致戦略

- **企業進出が停滞している**
- **産業の多様化が進んでいない**

取組

- **企業立地促進条例に基づく環境整備等に対する支援**
- **多業種に目を向けた企業誘致の推進**

主な達成目標（ＫＰＩ）

指　標　名	単位	令和5年度（実績）	令和9年度（目標）	備　　考
事業継承の相談件数	件	0	6	継承・相談件数
年間農業収入額（個人分）	億円	101	104	
奨学金返還支援事業活用件数	件	5	10	奨学金返還支援事業活用者数
空き店舗活用件数	件	4	5	
企業誘致件数	件	0	3	Ｒ７～Ｒ９の累計

５　取組

お手元の資料　P.53-62

Ⅲ　子どもも大人も共に成長する育みのまち（子育て等）

現況と課題

① 結婚から子育てまで切れ目ないきめ細かい支援
- 保育士不足による保育サービス提供の不安
- 出生率の低下と子育て環境変化への対応
- 安心して妊娠・出産できる環境の低下

② 誰もが安心して暮らせる地域医療と自立支援のまちづくり
- 人口減少、少子高齢化に伴う病院経営の困難
- 市民後見人の登録者数の伸び悩み　・

③ 健康一直線～市民総参加で健康寿命を延ばすまちづくり～
- 高齢化等により健康増進を支援する組織体制の維持が困難
- お達者年齢の伸び悩み
- 介護人材の不足
- 高齢者の孤立や生きがいの喪失が懸念される

取組

- 子育てと仕事を両立できる環境整備の維持推進
- 地域全体での共助の体制整備を促進
- 子育て世代への経済的支援制度の充実による妊娠・出産のサポート

- 医療の受け入れ体制整備の推進（こどもから大人まで）
- 市民後見人の安定した養成と確保の取組

- 市による充実した支援体制の実現を目指す
- 自主的な生活改善の取組みへの勧奨
- 年代別介護人材のアプローチの推進
- 高齢者が気軽に集い、地域とのつながりを深められる環境の整備

５　取組

お手元の資料　P. 53-62

Ⅲ　子どもも大人も共に成長する育みのまち（子育て等）

現況と課題

④ 子どもの学びを支える教育環境の整備と充実

- 進学や就労にあたってはより都市へ惹かれる傾向にある
- 極小規模校が増え、多様な考え方や感じ方に出会う機会が少ない環境におかれている

取組

- 自発的に地域と関わりを持つ意識を育むまちづくりの推進
- 交流授業（遠隔授業など）を実施し、多様な考えにふれる機会を創出して「協働的な学び」を実現

主な達成目標（ＫＰＩ）

指　標　名	単位	令和5年度（実績）	令和9年度（目標）	備　　考
保育所待機児童数	人	0	0	
二次救急の応需率	%	66.1	80	
健診受診率	%	50	60	奨学金返還支援事業活用者数
「竹田の良さを知っている」と答える児童生徒（小６、中３対象）の割合	%	小：85.0 中：80.0	小：90.0 中：85.0	小中学生に向けたアンケート

５　取組

お手元の資料　P.63-70

Ⅳ　誰もが快適に生活できる安全・安心のまち（魅力的な地域）

現況と課題	取組
① 地域コミュニティの活性化 ・市民の防災意識の維持と向上 ・異文化の受け入れ環境の不足	・自主防災機能を強化するための取組支援 ・異文化を受け入れる意識改革や受け入れ体制整備の推進
② デジタルインフラを活用した生活環境の整備 ・進化するデジタル環境への適応が困難さを増している ・行政手続きのオンライン化の遅れ	・デジタルインフラの適切な導入による市民サービスの提供 ・オンラインでの行政手続や相談窓口の充実
③ 公共交通の利便性向上 ・交通手段が限られており、利便性が低い状況 ・人口減少や高齢化により、公共交通の利用者が減少	・持続可能で利用しやすい総合的な公共交通網の構築 ・医療福祉、産業、観光振興などと連携した環境整備の検討と推進

５　取組

お手元の資料　P. 63-70

Ⅳ　誰もが快適に生活できる安全・安心のまち（魅力的な地域）

現況と課題

④ 持続可能な地域環境の実現に向けた取り組み

- **１人当たりのごみの排出量を減らす必要がある**
- **生活排水処理施設の普及が十分**
- **高齢化などにより自治会運営が困難になっている**
- **公有財産の有効活用が進まない**

取組

- **ごみの減量化や再利用の推進**
- **実情に応じた生活排水の処理機能を整備**
- **地域コミュニティの形成などを支援**
- **公有財産の利活用の促進**

主な達成目標（ＫＰＩ）

指　標　名	単位	令和5年度（実績）	令和9年度（目標）	備　　考
救急講習受講者数	人	1,854	5,400	Ｒ７～Ｒ９の累計
行政手続のオンライン化数	個	12	22	Ｒ７～Ｒ９の累計
公共交通の利用者数	人	38,671	41,980	各事業所報告
ごみ処理総量	t	5,815	5,687	清掃センター竹田市搬入量年報